

令和8年度からの進学型単位制導入についてのコンセプト

1 津高が津高たる理由

津高は、三重県で最も古い歴史を持ち、これまで数多くの社会で活躍する人材を輩出してきました。1880年創立の三重県第一中学校（三重一中）以来の伝統を大切に継承し、大学入学をゴールとするのではなく、大学入学後や社会人となってからも成長を続けて「世のため、人のため」に力を尽くし、明るい未来を創り出すことのできる人材の育成を目指しています。

津高の特徴は、知識と思考を深める日々の充実した授業に加え、

- ・自由で多様な価値観を認めあう校風と自主・自律の精神のもと生徒自治により運営される学校生活
- ・文武両道をモットーとした盛んな部活動
- ・リアルな体験や実践的な学びを重視した学校外を含む探究的な学習活動

を通じて行われる全人的な教育にあります。

（津高の教育方針）

- ・教養主義 : すべての教科に全力を尽くすとともに、充実した文化芸術活動や読書習慣により知性と教養を高め、豊かな人間性を育む。
- ・三兎を追う : 教室での学びに加えて、部活動や学校行事および社会での実践的な活動等に積極的に参加し、仲間との協働をとおして多様な価値観に触れ、豊かな人間性を構築し人格を磨く。

2 津高らしさをより高める進学型単位制

津高は、より津高らしさを発揮するために令和8年度入学生より「単位制」となります。単位制となっても津高は津高であり、今まで以上に自分の可能性を最大限に発揮しながら、充実した高校生活を送ることができます。

進学型単位制となることで、津高での学びをより深く楽しむとともに、自分の進路実現のために、自分の興味関心に応じた自分のオリジナルの時間割を作ることができます。特に3年生で、「学校設定科目」を数多く設置し、生徒の進学ニーズや必要な科目への習熟の度合いに合わせて、自分のとりたい授業を選択し、より深く楽しい学びに向かうことができます。同時にそれは、高い目標に向かって励む津高生にとって東大、京大、国公立大医学部等の難関大学受験や芸術系や体育系への道も見据えた選択肢ともなっています。まさに多才な生徒が輝く授業を用意しています。

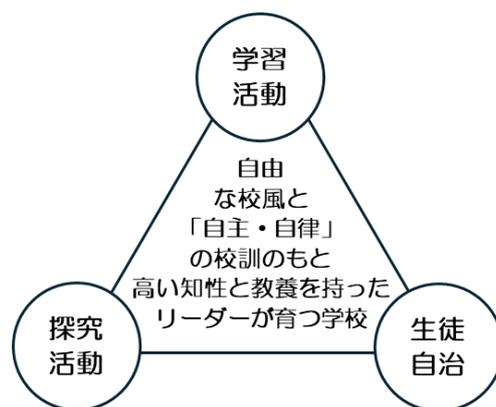
また、3年次では科目選択によりいわゆる「空き時間」を作ることができます。この時間を使い、自己の探究の時間などに充てることができます。もちろん、これまでどおり、部活動や学校行事および様々な社会的な活動に参加し、まさに「三兎を追う」充実した高校生活を送ることができます。

3 三位一体となった津高の教育

津高校の目指す学校の姿は、自由な校風と「自主・自律」の校訓のもと高い知性と教養をもったリーダーが育つ学校です。多くの津高生は、将来、様々な分野でリーダーになることが想定されます。そのため、生徒たちには、正しい判断の土台となる高い知性と教養を身につけることを求めています。

また、津高では、学業、探究活動、部活動等をやりきる体験、生徒主体で企画・運営する学校行事等を通して、たくさんの感動体験に出会いながら、「自分が将来、何を目指して何を極め、社会にどう貢献するか」という命題と向き合い、自らの可能性に思う存分チャレンジすることができます。

「進学型単位制」による「学習活動」・「探究活動」・「生徒自治」のそれぞれが、独自に活動していても、生徒の自己実現、進路保障を満足させることはできません。従来からの「探究活動」・「生徒自治」をより充実させるとともに、「進学型単位制」を導入し、個々に応じた「学習活動」の充実を図ることで、三位一体となった津高の学びを実現することにより、社会人になっても高い志を持ち、豊かな人生とよりよい社会の実現のために探究し学び続ける「自律した学習者」の育成をします。



4 津高の進路指導・学習指導

	3年間の流れ	進路指導	学習指導
1 年 次	<ul style="list-style-type: none"> ※学びの楽しさを知る ※本物にふれる体験 ※読書習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・学問領域の研究 ・職業の研究 ・自己理解 (文理選択) 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎固め、学習習慣の確立を目指す ・国語、数学、英語を中心に基礎固め ・地歴・公民は、歴史総合と公共を履修 ・理科は、物理基礎と生物基礎を履修
2 年 次	<ul style="list-style-type: none"> ※学部学科の決定 ※志望校群の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部学科の研究 ・自己理解の深化 ・海外研修 ・探究成果発表会 ・志望校の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自律した学習者」へ脱皮する ○文型らしさ、理型らしさの醸成 ・文型は地歴公民から2科目選択 ・理型は理科2科目選択
3 年 次	<ul style="list-style-type: none"> ※進路実現へ初志貫徹 「第一志望をあきらめない指導」 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験校の決定 ・校内模試 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校設定科目で総仕上げ＝単位制高校の利点を活かす

5 進路・学習指導のポイント

(1) 質の高い授業

- ・教師も生徒も授業を大切にすることを共有して日々の授業に臨んでいます。
- ・津高の授業だけで志望大学に現役合格できる授業を日常的に提供します。
- ・1年生前期に「予習⇒授業⇒復習」の学習習慣を確立します。
- ・タブレット端末を活用して情報を収集し教材の開発や共有化を図り、ICTを活用した魅力ある授業を展開します。
- ・3年生の部活動引退後は、放課後の時間帯に受験準備に対応する課外授業を展開します。

(2) 学びの楽しさや本物に触れる体験

- ・知的好奇心を刺激する授業に加え、本校 OB などの協力による人文・社会・自然科学などの各分野の最前線で活躍しているプロフェッショナルによる図書館での放課後講座（学年の枠を超えて希望する講座を受講）、探究学習（興味あるテーマに関するグループ研究）を通して、生徒の興味関心を喚起します。
- ・研修旅行（修学旅行、海外研修）やフィールドワーク、企業や大学の研究所訪問、教養講座（大学教員等による講演会）等を通して、学びの本質や最先端の知見など本物に触れる体験を提供します。
- ・放課後の時間帯の拡大や秋休みの導入などにより、生徒が主体的に活動に取り組む時間をより確保します。

(3) 進学型単位制のメリットを活かした魅力ある学校設定科目（幅広く豊かな講座設定）

- ・進学ニーズや必要な科目への習熟の度合いに応じた学校設定科目を幅広く用意します。
- ・生徒は各自の実情やニーズに応じて希望する講座（戦略的な学校設定科目）を戦略的に受講し、個に応じた深い学びに繋げることができます。

(4) 入学当初からの手厚い支援

- ・1年生前期は、津高生となるため、教員や先輩から丁寧な指導と手厚い支援を受けながら、一定の型を身につけます。（1年生後期からは、「自主・自律」の精神に基づき、徐々に「自律した学習者」への成長を促す指導に切り替わっていきます。）
- ・入学直後の「学習ガイダンス」で予習と復習の仕方を体得します。
- ・「縦割りディスカッション」において、2・3年生が新入生に対して、津高での過ごし方について直接コツを伝授します。

(5) 大学別グルーピングにより第一志望を貫く

- ・津高では、志望校を同じくする仲間と大学別のグループが自主的に組織されます。
- ・受験勉強において、仲間同士で切磋琢磨することで人間的成長につながるとともに、最後まで第1志望を貫く姿勢が高まり、結果的に学力が伸長します。
- ・各大学に進んだ津高 OB もコンサルタントとしてサポートしてくれます。

6 津高の選択科目（進学型単位制のメリットを最大限に活かす取り組み）

2年次文系

科目選択の方法は、以下の（イ）または（ロ）

（イ）通年科目（芸術Ⅰ、フードデザイン、情報Ⅱ、スポーツ探究）から1科目

（ロ）半期科目（国語基礎、数学基礎、読書探話）から前期1科目、後期1科目

※芸術Ⅰは、1・2年生合同授業

※フードデザイン、情報、スポーツ探究は、2・3年生合同授業

3年次 自由選択科目について

○文系

	共通テスト対策	個別試験対策
前期	国語講読 数学概論 物理総合/化学総合/生物総合 /地学総合（通年）	地理精読/日本史精読/世界史精読 数学特講
後期	数学総覧 物理総合/化学総合/生物総合 /地学総合（通年）	国語論考 地理論考/日本史論考/世界史論考 数学特論

○理系

	共通テスト対策	個別試験対策
前期		数学Ⅲ 物理/化学/生物/地学
後期	物理総覧/化学総覧/生物総覧/地学総覧	数学解析 物理解析/化学解析/生物解析/地学解析

○体育系、芸術系、家政・栄養系、情報系進学者のための選択科目を配置

前期	スポーツ探究（通年）、音楽理論、素描、書道探究、 フードデザイン（通年）、情報Ⅱ（通年）
後期	スポーツ探究（通年）、ソルフェージュ、構成、書道研究、 フードデザイン（通年）、情報Ⅱ（通年）